

こうなんの パワースポット



空から降りてきた舟があるらしい……?との情報を入手。それはミステリアスな話だと興味津々。空を飛ぶ舟といえば、UFOか、はたまた「ノアの箱舟か?」早速調べてみると、はるか昔、伝説のストーリーが隠されていた。

担当/田中 たい子



末久多計夫さん

天から降りてきた舟伝説 石舟神社

■問い合わせ ☎54-2296
【香南市文化財センター】



長い階段の先に

石の舟は、香我美町山川の「石舟神社」(別名天忍穂別神社 創建1315年)にある。

11月15日の秋祭りに合わせて取材に出かけた。

秋祭りの行事の準備のあいだ、まずは石の舟を探して境内へ。長い長い階段の先に神社の建物が見えている。はるか遠くに見える。一段、一段と上り始めた。始めは「余裕や、まだまだ若い」と一人で甘く見ていた。三分の一上ったところで、一休み。足はパンパン、息はゼエゼエ。さっきまでの強気はどこへやら。その後2回休んでやっとのことで上り詰め、神社の目の前にたどり着いた。階段の数は全部で185段。

はるか昔の伝説

神社の奥に本殿があり、本殿の外に、例の「空飛ぶ舟」が置かれていた。あちこち欠けているが、舟のような形をしている。そして、脇に小さな石の船がたくさんあった。山の上に降り立った舟。いったい、誰が乗ってきたというのか?

境内にある立て札によれば、「昔天照大神のお孫様で饒速日命という神様が、石舟に乗り大空を天かけり給い、山川のシミガサコの山の峰にお着きになりました。(途中省略)やがて父神の天忍穂耳尊を慕っ

て、土佐の国へお着きになりました。

…(桂井和雄「土佐伝記」とある。はるか昔の神様の伝説に思いを馳せていると、神社の秋祭りの行事が始まった。神主さんの話によると、本殿の横にある相殿は妻の天萬梯幡千々姫の祭られた場所。彼女は織り姫であり、柵機(たなばた)神社とも呼ばれているとか。この伝説、天の川にもつながるほどの壮大な神々のストーリーといったところだろうか。詳しい内容は、ぜひ現地で見てください。

人々の暮らしの中に

この地域の長老、末久多計夫さん(92)のお話をうかがうこともできた。「石の舟が空を飛んだという伝説にもいろいろの解釈や説があります。本当のところは誰にもわかりませんが、そういった伝説が、人々の心の糧になってきたのは明らかですね。香南市は海と山の距離が近く、昔は室戸からも船乗りさんが航海の安全祈願のため「石舟神社」に小さな石の舟を奉納しよったそうです」と、元気に説明していた。

「空を飛ぶ舟」伝説に興味のある方は、ぜひ訪れてみては? 道がわかりにくいので、地元の方に道案内をお願いすると、また何か新たな情報が得られるかも…。

ちよびっつ とっくをすたつ 山崎祐則漫画遺稿集

夜須図書室

香南市夜須町出身の特攻隊員山崎祐則さん(享年19歳)が、太平洋戦争中に家族に送った自作のマンガや絵手紙を冊子にまとめた遺稿集が、夜須図書室に展示されています。

これは山崎さんのご遺族の方から、「生きた証として少しでも多くの方に見ていただきたい」との思いから寄贈されました。冊子には、軍隊での訓練の様子や、日々の出来事がユーモラスに描かれ、同時に家族へ宛てた文面から山崎さんの人柄が垣間見えます。また、特攻隊として死を目前にした、家族への手紙は、戦争の悲しさを考えさせられます。ぜひ一度ご覧ください。



《広報へのメール》
kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp